Sun Capital Management

社長メッセージ

2023 年 7 月 4 日（火）

■桂経営塾塾生第２号案件『大三萬年堂×HANARE』基本合意書締結

皆様、７月に入りました。先週の株主総会が無事に終わり、いよいよ新体制のスタートです。株主総会後の臨時取締役会において、私が代表取締役社長に復帰することが決議されましたが、もう一つ、役員報酬を決議する必要がありました。その際、私から新役員の皆さんに提示した役員報酬は、現在の業績のことを考えて、これまでの役員報酬よりもかなり低い金額を提示したのですが、新役員の皆さんから、それでも多過ぎるとの反対意見が多数出ました。必ず結果を出すので、成果報酬に出来ないのかといった意見まで出ました。新体制は、意識の高いメンバーで構成されています。皆様、どうぞご期待ください。

さて、先週６月 30 日（金）、５月 25 日付桂経営ソリューションズとの業務提携契約に基づく提携業務の一環として、大三萬年堂及び株式会社 HANARE と、両社が取扱う商品の販売、両社の展開する事業､両社の金融戦略等に関して､当社及び桂経営が有するノウハウを提供することにより、両社の事業等を更に発展させるための基本的事項について取り決めることを目的とした基本合意書を締結いたしました。桂経営塾塾生案件の第２号案件です。

大三萬年堂は、江戸時代中期の創業以来 360 年間、創業の地兵庫県たつの市で営み続ける老舗の和菓子屋です。藩主・脇坂家にお菓子を献上する和菓子屋として、地元で愛されてきました。一昨日７月３日（日）、たつの市を訪れ、龍野城下を散策し、大三萬年堂に伺い、第 12 代当主・安原和夫様、第 13 代当主・安原伶香様にお会いしてきました。伝統を感じる和菓子の数々が店頭に並んでいて、その中から、地元の醤油を使った「醤油まんじゅう」、地元を流れる揖保川を泳ぐ鮎を模った最中「揖水の鮎」、舌先でとろけ流れる甘味の「煉羊羹」を、とても美味しく頂きました。残念ながら、桂経営の桂代表が絶賛されていた「コーヒー羊羹」は売り切れていて、口にすることが出来ませんでした（泣)。次回の楽しみにしたいと思います。

大三萬年堂の第 13 代当主であり、HANARE の代表取締役を務める安原伶香氏は、和菓子・洋菓子研究家としても著名です。TV・雑誌といった各種メディアでかなり取り上げられていますので、スイーツ好きの方ならば、ご存知なのではないでしょうか？安原社長の『和洋折衷・温故知新』をテーマとした新しいお菓子で日本の伝統文化を繋いでいきたい、という想いに大いに共感して、今回の基本合意書締結に至りました。正に、当社が注力しようと検討している「インバウンド」や「地方創生」分野におけるテーマと同じです。「和と洋を結び、そして人と人とのご縁を結ぶ菓子屋として、お客様に愛されるお店を作りたい」という安原社長の想いを実現化するため、新たな構想を計画中です。大三萬年堂及び HANARE を中心とした、播磨国『小京都「たつの」カフェ城下町構想』です。皆様、楽しみにお待ちください。

大三萬年堂本店前にて。第 13 代当主であり、HANARE 代表取締役安原伶香社長（右）と。

播磨国龍野藩 5 万 3 千石・賤ヶ岳七本槍の一人『脇坂安治』を祖とする脇坂家が 10 代 200 年の治世を行った本拠地・龍野城跡。

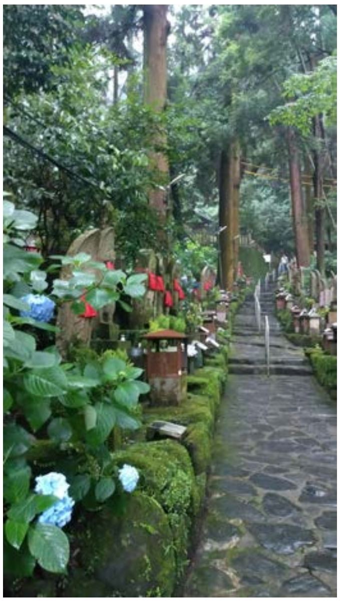
藩主の御涼所（みすずしょ）である別邸『聚遠亭（しゅうえんてい)』 お茶室もあります。

龍野城跡から城下町を望む。ヒガシマル醤油本社が見えます。醤油の町としても有名です。

素敵な街並みが続きます。播磨国の『小京都』と称される由縁です。街中にある『旧中川邸』でランチを頂きました。ゆったりとした時間が流れます。夕焼けの街としても有名です。『赤とんぼ』の作詞者・三木露風の生家もありました。これから始まる取組が本当に楽しみです。

■余談

先週７月１日（土）は、毎月恒例の生駒山宝山寺への参拝の日でした。当社商号を「燦キャピタルマネージメント」に変更した 2001 年 10 月以来、毎月月初に参拝しています。燦キャピタルマネージメントが上場する契機となった第１号ファンドの設立を行った際に、宝山寺さんに投資家顧客になって頂いた御縁から、参拝を続けています。毎年の初詣も、宝山寺さんに参拝致します。株主総会が終わり、新体制でのスタートをしたことのご報告と商売繁盛の祈願、役職員、株主の皆様のご健勝の祈願を行いました。あいにく１日（土）は、１日中、雨でしたが、不思議なことに、参拝中は、雨が止んでいました。いつもそうなのです。本当に不思議です。宝山寺の聖天さんをはじめとした神々様のお導きだと思いました。今、向かおうとしている方向は、間違っていないのだと教えられた気が致します。そう言えば、HANARE の坂田会長も、私と同じように、神社に参拝する時に、雨が降っていても、参拝中は、必ず雨が止むということをおっしゃっていました。今回の取組は、天に導かれた気が致します。



生駒山宝山寺

代表取締役社長　　前　田　健　晴